

ふれあい

第68号
特集号
2016.8

公益社団法人 北広島市シルバー人材センター

〒061-1113 北広島市共栄町3丁目12番地1
TEL 011-373-6763 FAX 011-373-1252



「ふれあいの輪が広がりました」

5月11日～13日まで、エルフィンパーク交流広場で、「第16回シルバーふれあい祭り」を開催。会場は、行列のできる賑わいで、花苗、腐葉土、手作りの木工品・手芸品の販売、刃物研ぎのほか、喫茶コーナーでは、恒例となったシルバー・ホット・バンドの歌と演奏を楽しみ、名人によるそば打ちの実演に見入るなど、シルバー事業の普及と市民とのふれあいの輪を広げる3日間となりました。

ホームページアドレス <http://webc.sjc.ne.jp/kitahirosima>

定時総会開催

平成28年度シルバー人材センター定時総会は、5月26日、北広島市芸術文化ホールで、会員410名（委任状328名）が出席し開催されました。

開会宣言の後、センターの事業発展のため、ご尽力いただいた物故者及び熊本地震で犠牲になられた皆様に対する黙祷。次に、10年表彰22名、地域班長表彰3名、役員表彰1名の方々に表彰状が授与され、永年の事業推進の功績を讃えました。

来賓として出席された道塚北広島市副市長、佐藤北広島市議会議長、小岩北海道議会議員からは、シルバー人材センターに期待する、との祝辞と激励をいただきました。

その後、森田一夫さんを議長に選出し、議事に入りました。

「平成28年度事業計画及び収支予算に

ついて」報告した後、「平成27年度事業報告及び収支決算報告について」「理事・監事の選任について」審議され、すべて原案どおり承認可決されました。

最後に、事故ゼロに向けて、全員で安全就業を誓いました。

下村理事長挨拶

当センターの平成27年度の事業執行状況は、契約件数、受注金額、会員数、就業率、派遣事業など全てにおいて前年度を上回り、順調な事業運営となりました。

高齢化社会が進む中で、シルバー人材センターの果たすべき役割は一層大きくなってきています。

昨年2月の安倍総理の「施政方針演説」や今年1月国会での「一億総活躍社会」の発言の中でも、シルバーへの期待を寄せる発言がありました。

また、厚生労働省においても「生涯現役社会の実現」に向け、シルバーの機能強化・機能充実への取り組みを促す検討がなされてきています。このことは、制度の改正や国の補助金増額対応等にも現れてきています。

改正労働者派遣法では、「派遣期間3年問題」が解消され、「臨・短・軽」の基準緩和についても派遣・職業紹介について週40時間への改善の方向にあります。

国庫補助金については、今年度には平成22年度から行われた「事業仕分け」による減額分がほぼ回復される見込みです。少子高齢化の進行により、介護保険制度の見直しも行われています。元気な高齢者が手助けを必要とする方々への家事援助や介護サービスなどの担い手となることが求められるとともに、日ごろからその一部を担ってきたセンターには、今まで以上に役割を果たして行く必要があります。高齢者の就業ニーズの変化・多様化のため、積極的な就業機会・職域の開拓を進めるとともに、会員の拡大、特に女性会員の増加を図ること、さらに地域や行政と密着した事業活動を行うことが重要であると考えています。



新役員紹介

- 理事長（再）下村英敏
- 副理事長（再）安孫子章平
（事業部会・就業調整委員会・安全委員会）
- 常務理事（再）奥野章弘
（総務部会）
- 理事（再）福島昭
（事業部会・安全委員会）
- 理事（再）太田勝利
（総務部会）
- 理事（再）坂元純子
（事業部会・女性委員会）
- 理事（再）吉住勇夫
（広報部会）
- 理事（新）村井明
（総務部会・就業調整委員会）
- 理事（新）清野道昭
（広報部会）
- 理事（新）吉田宏
（広報部会）
- 理事（再）大野孝子
（事業部会・適正就業委員会）
- 理事（新）原享子
（広報部会・女性委員会）
- 理事（新）飯田幸洋
（事業部会）
- 監事（再）佐藤克人
（事業部会）
- 監事（再）田島義久

なお、理事長・副理事長・常務理事は、理事会で選任されました。

退任された役員

扇功一理事、大西一義理事、村上稔博理事が定時総会をもって退任されました。永い間、ご苦労さまでした。

地域に親しまれ 信頼される

シルバー人材センターをめざす





小林千枝子会員

認知症や老いを理解し、 現実を見つめる心の充実を

シルバー人材センターから道シ連主催の高齢者活躍人材育成事業の「介護職員初任者研修」を受講しませんか？との案内を頂き、早速申し込み、昨年10月から今年2月までの約4カ月間、座学と技術演習、定期的なレポート提出に追われ、必死で研修に取り組みました。

何度か安易な気持ちで受講した自分を悔やみましたが、仲間を支えられ、途中で挫折したら申し訳ないと自分を奮い立たせ、絶対一発で試験に合格することを誓い、無事それが叶いました。先日、全員の合格を祝う会が行われ、共に学んだシルバー会員の人達と会えてとても嬉しかったです。

受講してみて、今まで見て見ぬふりをしてきた認知症の事や本当の老いの事が解ったような気がしています。せっかく学習したこと忘れないうちに介護現場で働こうと思いい、近くの老人介護施設を訪ねました。



受習を実践する小林さん（左）の着脱の練習

お陰様で、現在、週3回、1日3時間半の仕事をしていきます。この施設は、

特別養護老人ホームなので、入所者は要介護3以上の介護が不可欠な人達です。百名の方が入所され、職員の方も百名ほどいます。私は、前期高齢者ですが、男性で後期高齢者の方もバリバリ働いており、シルバーの会員の方も活躍の場があります。いずれ自分も行く道、現実を見つめる心の充実を夢見て、自宅から施設への急な坂道を自転車のペダルを踏みながら、元気に通っています。

介護保険制度改正に伴い、地域の中で清掃・洗濯・買い物など生活支援サービスの担い手としてシルバー人材センターが期待されています。今回の研修には、男性会員の方も受講されていました。共働き世帯や高齢者世帯などに対する福祉・家事援助サービス事業や日常生活支援総合事業への就業拡大のため、男性も含めた家事援助サービス班が編成されることを期待しています。

安全就業の推進

安全は 他人に頼らず 自己管理
大瀬宏明会員
気を抜くな 事故に場所なし 予告なし
山内清志会員

平成28年度第1回安全委員会が6月23日に開催され、新しい安全委員に委嘱状の交付、正副委員長を選出に続き、平成28年度の安全就業対策基本計画・実施計画を報告しました。

4月に開催した安全大会及び安全就業講習会では、安全標語の表彰、安全就業宣言の採択及び「高齢者の交通安全について」北広島自動車学校管理者阿部正敏氏の講話、クイックアームによる俊敏性

年齢診断を体験し、高齢運転者の事故の特徴とその防止策、市内で発生した高齢者の事故について説明を受けました。

今年度も「事故ゼロ」を目標に

安全委員会委員

- 委員長 安孫子章平 副理事長
- 副委員長 福島 昭 事業部理事
- 委員 加川 富男 草刈班会員
- 委員 山口 繁 企業就業会員
- 委員 森谷 正夫 剪定班会員
- 委員 赤沼 正三 軽作業班会員
- 委員 木村 俊和 自主事業会員
- 委員 奥野 章 事務局局長
- 委員 宮腰 英世 事務局次長
- 委員 平松 一馬 安全就業推進員



俊敏性年齢診断

危険予知で 事故を防ぐ

一日奉仕

第27回

地域社会に感謝し、123名の会員が参加
9会場に分かれて汗を流しました



広葉交流センター

シルバー人材センターでは、社会貢献として地域の奉仕活動に取り組んでいます。7月9日には、早朝から会員123名が参加し、芸術文化ホールなど9カ所の公共施設の剪定、草刈などの作業を実施しました。今後も、地域に親しまれるセンターを目指していきます。皆さんご協力ありがとうございます。



大曲出張所



芸術文化ホール



旧島松駅通所



北広島レクリエーションの森



中央公民館



輪厚児童センター



西の里公民館

平成28年度 講習会 (予定)

講習会名	日程	定員
普通救命・AED講習	9月16日	30名
毛筆宛名書き講習	9月7日・14日	10名
	9月21日・28日 10月5日・11日	
冬囲い講習	10月12日・13日	20名
料理講習	12月14日	14名
木工講習	1月12日・13日	10名
	1月23日・24日	10名
普通救命・AED講習	1月27日	30名
冬道安全運転講習	1月29日	30名
刃物研ぎ講習	2月22日	10名
機械器具整備講習	2月23日	20名
木工安全講習	3月16日	10名



きたひろ.TVでは、「地上の星シリーズ」第1回目として、北広島市シルバー人材センターを特集し、放送しています。パソコンやスマホで、ご覧ください。